

こころる便り

第217号

平成30年4月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kimhami@shingu.co.jp
電話 07991-7551212

立派な着物

スマホに注文するだけで手に入るのですから、昭和の高度成長期に育った私から見れば、夢のような時代になりました。

その夢の時代ですから、お金を払わなくても買える立派な着物があることをお知らせします。

それは、「恥ずかしいという着物」です。今、自分がお金をかけることなく手に入れてる着物です。目に見えないからわからないと感じる方もおられるかもしれませんが、何か行動したときに、自分に問いかけてみてください。

「お前、恥ずかしいか？」

それでも感じないというなら、ちょっと危ないかもしれません。人前で恥ずかしいと感じた時に、顔はもちろん、耳たぶまで真っ赤になる経験をした人はすぐにわかるはず。人間は皆、その着物を着ているのです。

日本人はその恥という感性が優れていると言います。それは、多くの自然災害から身を守るため、生き抜いていくための知恵、助け合うための工夫、そこにつながる武士道という生き方をしてきた先祖がいたからだ。私は理解しております。DNAが繋がって、現代を生きる私たちにも、その立派な着物が目には見えないけれどもあるのです。

忘れることなく、自分自身に問い掛けてまいりましょう。きっと良い世の中を生み出すきっかけとなると信じています。

被災地にこころるを寄せながら

一気に春がやってきました。桜も早くから開花して、この間までの大雪のニュースが嘘のようです。不安を煽るのがマスコミの役割になってきたようです。我が国は世界中のどの国から見ても、地震、台風、火山の噴火などの自然災害の多い国であることは周知の事実です。だからこそ、今やらねばならないことを今、実行しなさいと教えられて、そう簡単には実行できませんが、なぜか納得感があるはず。震災の時に助け合うことができているのは、日頃のそんな教えが心のどこかにあるからなのだと思います。

知らず識らずに身体の中に染みついていて、イザというときに出てきます。知っていることとやっていることは違うという話は、誰に聞いてもわかりやすいことです。知識として知っているから、その人が実行しているということではありません。逆にいうと、実行するということは知識ではありません。知識を身につけるには、実行がなければ実現しません。自分が描いた夢を実現するのも、弛みない実践があればこそです。

便利な現代は、知識を収集するのには簡単で、本当の事も嘘もあわせて手に入れることは瞬時にできます。同じように自分の好きな洋服も流行りのファッションに合わせてお金を払いさえすれば、どんなものでも手に入れることができるようになりました。安くて、良い品質のものがパソコンや

木南 一志 拜

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。

尋常小學校修身書 卷五 兒童用

第七課 衛生

傳染病の流行するのは、多くは人々の衛生に關する注意が足りないところから起るものです。傳染病については、國家も取締をしてゐるけれども、人々が公衆のためを思つて、自分々々で氣をつけないければ、とても十分に其の流行を防ぐことは出来ません。

傳染病にはコレラ・チフスなどのやうに急性のものがあり、結核・トラホームなどのやうに慢性のものもあります。傳染病の外に寄生虫病といつて、虫が體內に宿つて起る病氣もあります。いづれも病毒が外から體內にはいつて、病氣を起すものです。例へば飲食物と一しよにはいつたり、呼吸の時にはいつたり、又不潔なものに觸れた時にはいつたりします。

傳染病にかゝらないやうにするには、常に身體を強壯にしておくことが第一です。又飲食物に注意し、身體・衣服・住居などを清潔にすることに努めなければなりません。傳染病の流行する時は、醫師や衛生係の注意を守ることが大切です。萬一、傳染病にかゝつた時は、すぐに醫師の治療を受け、他人にうつさないやうに、十分に氣をつけなければなりません。隠して届出をしなかつたり、迷信から醫師の診察を受けなかつたり、又全快しないうちに人中へ出たりするのは、大そう危険です。

衛生に關する注意が足らないところから、傳染病にかかることがあると、それは自分の禍であるばかりでなく、公衆に大そう迷惑をかけます。まして自分の不注意から病毒を他人にうつし、大ぜいの人の命をそこなひ、産業を衰へさせるやうになつては、公衆に對して其の罪は決して軽くはありません。